第70号（令和2年12月号）

発　行　所
社会福祉法人
上横山福祉会
〒８３４－００２３
福岡県八女市馬場６番地１
ＴＥＬ　０９４３－３０－３００１
ＦＡＸ　０９４３－３０－３００３
発行責任者　國芳　雅広

「令和２年を振り返る
＝感染症対策＝」

蓮の実園施設長　鑓水文雄

令和2年のスタートは箱根大学駅伝を見てお正月気分を味わいながら、新型コロナウイルスは厄介な感染症では？と感じつつ、今日の日常生活や教育、スポーツ、文化、経済活動等への影響を想像することは全く出来ませんでした。

年度末の互助会主催の退職者送別会も開催出来ず、功績を残された方との思い出作りの場が実現できなかったことはとても残念でした。

施設運営としては令和2年度の行事計画は大幅な変更を余儀なくされ、利用者の皆さんが楽しみにされている週末やゴールデンウイークの帰省、夏期家庭実習期間の中止を行いました。施設内の感染症対策についてはどちらの施設も同様でしょうが職員の出勤前の検温や入室前の消毒、マスクの着用等の徹底を図りました。施設内の換気、手すりやドアノブ等の消毒を頻回に行いました。利用者の皆さんには食事前の手洗い・消毒の支援体制を充実し更に食堂の密を防ぐために食事摂取の時間差を設けながら、６人掛けのテーブルに３人掛け等を試み感染症予防の意識が定着してきました。

感染症流行の第１波終息後に面会場所の指定などを実施し、感染症対策を十分に行いながら地域指定の少人数での外出（食事）並びに帰省の緩和を行いました。１１月初旬の活動班の日帰り旅行（ドライブと食事）では、久しぶりの外出にマスク着用の利用者の皆さんは笑顔満開でした。ご家族へ土産を送付する方や帰省や面会時に手渡しをすることで「電話での御礼」、「お土産ありがとう。美味しかった」との言葉でコミュニケーションも深まり満足度がさらに高まったと感じました。

今後、インフルエンザの流行と重なり新型コロナウイルス感染症も猛威を振るって来るのではないかと懸念されますので筑水会病院の感染制御チームＩＣＴ（Infection Control Team）の助言をいただきながら、衛生委員会の活動を行い感染症予防対策を怠らないようにしていきたいと考えます。

最後になりましたが、国や県、八女市並びに企業の皆様からの消毒、マスク等の支給や助成金に関しては感謝申し上げます。感染症対策としての備品購入並びに施設整備に有効に活用させていただきます。

新しい年を迎え新型コロナウイルス感染症の沈静化を願い、皆様のご健康とご多幸を祈念致しますと共に、今後とも上横山福祉会へのご協力、ご支援を賜りますようにお願い申し上げます。

合掌

日帰り旅行

武雄市

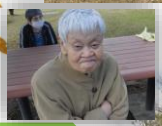
大牟田市

秋祭り

外出（がいしゅつ）

久留米市（くるめし）

おさんぽたのしいな！



筑後市（ちくごし）

コスモスがきれいでした
（＾－＾）

食事会（しょくじかい）

おいしかったばい！

蓮ふぇす　スポーツレクリエーション HASUNOMI 2020
～笑顔でコロナをぶっとばせ！～

ヨガ教室

YUKI YOGA代表
ヨガインストラクター
松林由紀子先生を講師にむかえ、月一回実施しています。

しゅうかくさい 収穫祭

4月にさつまいもの苗を植え
10月に収穫しました。

あまくて
おいしい！

コンテナ3個分のさつまいもをしばらく寝かせて、11月に焼きいもにしておいしくいただきました。

ワークスペース蓮

11/19～11/30で

★利用者旅行に行きました★

太宰府天満宮で記念撮影

吉野ヶ里で勾玉作り

山鹿で木工体験

かまぼこ作りを体験中

組子細工に挑戦中

よろず屋

新型コロナウィルス感染症の先の見えない状況の中で相談支援専門員の本来の役割である相談業務において、感染症予防のため直接的な関わりに制限が続いています。

よろず屋では日々の業務を続けていくなかで、リモート研修やリモート会議などで、情報収集を行いながら資質向上に努めています。

★療育相談★

療育相談は、新型コロナウイルス感染症予防を行いながら、6月以降再開しています。しかし、ご希望も多く、すぐに対応できない状況も続いています。現在は、保育所巡回(1回/月)や療育相談会(3回/月)を中心に支援を行っています。契約している外部スタッフと一緒にお子さん・ご家族の困りごとを少しずつでも軽減できるよう、支援機関と連携して動いています。

よろず屋では、上妻校区の皆様から頂いたパンジーの水やりを行っています。1日の中で癒しの時間です。

『在職者のつどい』に参加しました。

令和2年11月21日(土)に『在職者のつどい』が開催され、グループホーム第5ほうれん荘の長岡勇大さんが参加されました。筑後特別支援学校の久保田教諭の講演『心と身体を元気にするための生活習慣』では、挨拶訓練や心構えをダンスにしたものなどを参加者と一緒に行われ、みなさん積極的に取り組まれました。また、スポーツ交流では、ソフトボールが行われ、一緒に汗を流し楽しまれました。

全集中！

～在職者のつどい～

障害者就労・生活支援センターデュナミス登録者のうち、主に在職者を対象に参加者同士の交流を深め、職場定着の促進を目的として開催されています。

～長岡勇大さんのコメント～

私の目標は、グループホームを出て、一人暮らしをして自立することです。いろいろな経験を積み仕事に取り組みながら、社会勉強をしていきたいと思います。

上横山福祉会動静
（令和2年 8月～令和2年11月まで）

法人への寄付

・よしだ胃腸内科クリニック　院長 吉田 光 様
・蓮の実園ご利用者様ご家族　田中 善子 様
・前蓮の実園ご利用者様ご家族　末次 カズ子 様
・法人評議員　福島 正志 様
・前法人常務理事 兼 前蓮の実団地施設長　田川 晴基 様

蓮の実園への寄付

・蓮の実園ご利用者様ご家族　田中 善子 様
・前蓮の実園ご利用者様ご家族　末次 カズ子 様

蓮の実団地への寄付

・蓮の実団地ご利用者様ご家族　安川 美佐子 様

入退所者状況

【蓮の実園】
（入所者）
令和2年8月1日付　男性1名
（退所者）
なし
【蓮の実団地】
（入所者）
令和2年10月1日付　女性1名
（退所者）
令和2年11月20日付　女性1名（施設移行）
【ワークスペース蓮】
（利用開始）
令和2年7月27日付　女性1名
令和2年8月3日付　女性1名
令和2年9月4日付　女性1名
令和2年10月19日付　男性1名
（利用終了）
令和2年8月31日付　女性1名（施設移行）

職員動静

【採用】
（蓮の実園）
・生活支援員　星隈 浩昭（令和2年10月1日付）
（蓮の実団地）
・生活支援員　原口 史恵（令和2年8月1日付）

行事予定

【蓮の実園】
1月　書初め
2月　豆まき
　　バイキング
3月　花見
　　春の健康診断
【蓮の実団地】
1月　施設内成人式
　　正月遊び会
　　2月新春の集い
3月　自治会選挙
　　春の健康診断
【ワークスペース蓮】
2月　新春の集い
　　火災避難訓練
3月　企業見学
　　春の健康診断

苦情受付

【　蓮の実園　】
　0件
【　蓮の実団地　】
　1件　（職員の傾聴にて納得される。）
【　ワークスペース蓮　】
　0件

NEW FACE

星隈　浩昭

（ 蓮の実園　生活支援員 ）

趣味

・子供と戯れる事

一言

今まで施設・病院で高齢者介護の仕事をしてきました。障害の分野は初めてですが一生懸命頑張りたいと思っていますので、よろしくお願い致します。

原口　史恵

（ 蓮の実団地　生活支援員 ）

趣味

・旅行、ドライブ

一言

８月よりグループホームの預り金を担当させて頂いております原口です。皆様のお役に立てるよう少しずつ成長できればと思っております。よろしくお願い致します。

栄えある受賞

元・蓮の実園看護師の山口美代子さん（現・グループホームほたる世話人）が、2020年秋の叙勲で『瑞宝双光章』（福祉関係の看護業務功労）を受賞されました。長年蓮の実園で看護業務に従事された実績が評価されたものです。

１２月８日に國芳理事長より法人からの表彰状並びに副賞の贈呈式が行われました。

～ステイホームで新に始めたこと～　職員アンケート結果

〇こまめに手洗い・消毒・うがいをするようになった。外出を減らした。（多数）
〇カラオケに行けなくなったので車の中で歌うようになった。
〇屋外での趣味を楽しんでいる。　〇自宅から出れず、３食きちんと食べるようになった。（体重増）
〇休んでいたギターの練習を再開した。　〇やり残していた模型の組み立てを再開した。
〇小さい頃から習いたかったピアノ。お家時間が増えピアノは高価で買えないのでキーボードの練習を始めました。
〇数年前からストレッチをしていますが、休日にストレッチが増えたお陰で少し床に手がつくようになった。

―お忙しい中、アンケートにご協力頂き、有難うございました。―

～編集後期～

コロナ禍で始めた事の一つで、電子書籍の利用を始めました。色々読んできた中で心に残った言葉を紹介します。

「悪い時が過ぎれば、よい時は必ず来る。おしなべて、事を成す人は、必ず時の来るのを待つ。 あせらずあわてず、静かに時の来るのを待つ。 時を待つ人は春を待つ桜の姿といえよう。 だが、何もせずに待つ人は 僥倖を待つに等しい。 静かに春を待つ桜は、一瞬の休みもなく力を蓄えている。 蓄えられた力がなければ、時が来ても事は成就しないであろう。」【松下電器（現・パナソニック）創業者　故・松下幸之助氏】

春を待つ桜のように、力を蓄えながら平穏な日常が戻るのを待ちたいと思います。

文責：樋口由美子